

# 社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）秋田林業土木協会

活動内容	夏休みを前に仁別林道の環境整備を実施
1	実施年月日 : 平成30年7月6日
2	実施場所 : 秋田森林管理署管内 秋田県秋田市仁別字務沢国有林 仁別林道等
3	参加会員数 : 12企業及び事務局 延べ30人
4	<p>活動内容 :</p> <p>秋田森林管理署は、秋田県中部の112千haの国有林を管理経営しています。 管内の仁別林道は、「仁別国民の森」、仁別森林鉄道の歴史等を紹介する「仁別森林博物館」、市民登山で親しまれる太平山の登山口に当たり、全国から観光客や登山者が訪れています。 特に、夏休みに入ると自然観察やハイキングに訪れる客で交通量が増し、林道沿線に繁茂する雑草や灌木が交通の妨げとなり、交通事故の発生も懸念されます。 当協会では毎年夏休み前の時期に、訪れる方々に林道を安全かつ快適に利用してもらおうと、平成21年から沿線の草刈りやカーブミラーの清掃などをボランティアで行っています。 今年も、県内の会員企業から30名が参加し、道路に覆い被さった雑草木の刈り払い、砂ぼこりなどで見にくくなったカーブミラーの清掃などに汗を流しました。 作業開始から約2時間、約9kmの仁別林道沿線は見違えるほど明るくなり、時折通行する車の運転手からも笑顔で会釈されるなど、作業を終えた充実感に浸りながら全員森林博物館前で昼食、最後に全員で記念撮影して解散しました。 活動の様子は、毎日新聞、秋田さきがけ新報、秋田建設工業新聞に掲載されました。</p>

活動写真	
	 <p>協会尾形監事の開会挨拶</p>
<p>開会式の様子</p>	 <p>秋田署池田署長の挨拶</p>

## 社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）秋田林業土木協会

<p>活動内容</p>	<p>蔵王を安全で快適に楽しんでいただくために環境整備</p>
<p>1 実施年月日 : 平成30年7月13日                  2 実施場所 : 山形森林管理署管内                                    山形県山形市蔵王温泉熊野岳国有林 蔵王林道                  3 参加会員数 : 13会員企業及び事務局 延べ34人                  4 活動内容 :</p>	<p>山形森林管理署は、山形県中央から東部に広がる約77千haの国有林を管理経営しています。                  管内の蔵王は、情緒溢れ薬効高い温泉として知られる蔵王温泉と、単独のスキー場としては日本一の面積で変化に富んだコースやゲレンデが有名であり、アルペンスキー、ジャンプの国際大会なども行われることから、特に冬期に賑わいを見せます。夏の蔵王も、特に熊野岳周辺はコマクサやアカモノなどの高山植物、蔵王の御釜や高層湿原、蔵王温泉の大露天風呂などに、全国各地から多くの観光客が訪れています。                  蔵王の観光道路にもなっている蔵王林道は、蔵王地蔵岳や熊野岳の登山口や高原の風が爽やかなドッコ沼、片貝沼などに通じており、途中、蔵王温泉街や山形市街地などを眼下に一望できる路線でもあります。                  毎年、夏休み期間は、登山や観光で蔵王林道を利用する車両が多くなることから、当協会では、平成22年から毎年、林道沿線（約7km）の雑草木の刈り払い、カーブミラーの清掃などをボランティアで行っています。                  当日は、午前10時過ぎに蔵王林道を少し入った旧国設スキー場駐車場に、会員企業13社等から34名が参加し、山形森林管理署から船津地域林政調整官、高橋地域技術官にもお越しいただき開会式を行った後、早朝までの雨が上がり濃い霧が立ちこめる中で、作業を実施しました。                  刈り払い機班を3班、自動除草機1台、カーブミラー清掃班とそれぞれ分担し、午後2時30分、約7.1kmの蔵王林道沿線での作業を無事終了しました。                  この蔵王林道での一連の活動は、一昨年のインフラメンテナンス大賞に応募した経緯もあります。また、当日の活動は山形新聞に掲載されました。</p>
<p>活動写真</p>	
	
<p>開会式で船津調整官からご挨拶をいただく</p>	<p>林道入り口の注意標識</p>



林道沿線での刈り払い作業



カーブミラーの清掃



作業に参加された皆さん

## 社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）秋田林業土木協会

活動内容	夏休み前に海岸林クリーンアップに協力
1 実施年月日	： 平成30年7月18日
2 実施場所	： 由利森林管理署管内
	秋田県由利本荘市田尻国有林ほか（飛砂防備保安林）
3 参加会員数	会員企業及び事務局 10人
4 活動内容：	<p>由利森林管理署は、由利本荘市、にかほ市にまたがる約23千haの国有林を管理経営していますが、由利本荘市の日本海に面した本荘海岸には、地域住民の生活を守るためのクロマツの海岸防災林があり、古くから地域住民に親しまれてきました。</p> <p>この海岸林は、昭和58年頃に松食い虫被害が確認され、平成10年頃には壊滅的な被害を被りましたが、森林管理署が地域住民やボランティア団体などと連携して海岸林再生の取り組みを進め、ようやく海岸林復活の目途がたってきました。</p> <p>一方、近年、海岸線への漂着ゴミが社会問題となっていますが、この海岸にも海が荒れた直後には、おびただしいゴミが漂着します。加えて、心ない釣り客や海水浴客などによるゴミの不法投棄もあり、特に海水浴場や釣り場に通ずる道路脇にゴミの散乱が目立ちます。</p> <p>このため、森林管理署では、地元ボランティア団体などとともに数年前から「海岸林クリーンアップ活動」に取り組んでおり、今年も夏休み前の活動に参加しました。</p> <p>当日は、ボランティアで参加した約30名が森林管理署に集合し、午前8時40分から開会式が行われました。最初に由利森林管理の仙北谷署長がご挨拶され、庄司森林技術指導官から作業の留意事項等説明があった後、早速車に分乗し海岸林に向かいました。</p> <p>海岸林では、ゴミ袋を片手に、発泡スチロールやプラスチックゴミ、ペットボトル、アルミ缶や袋類などのゴミの収集作業を始めました。</p> <p>こうした取組で、集めたゴミは昨年より大分少なくなり、ボランティア活動の成果を実感することができました。その後、森林管理署で閉会式を行い、解散しました。</p>
活動写真	
	
由利署前での開会式	由利署仙北谷署長のご挨拶



海岸林でクリーンアップ活動実施中の状況



2 t ダンプに一杯のゴミ

当協会提供の 2 t ダンプ



作業に参加された皆さん



自動除草機による除草



刈払い機での除草作業



カーブミラーの清掃作業



作業を終え森林博物館前で記念撮影